



▲当社保有の特殊車両トラック

- 本社所在地：三重県松阪市曾原町17番地1
- 事業概要：一般貨物自動車運送業、倉庫業、自動車賃貸業、不動産賃貸業
- 常時使用する従業員：80名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：14億円
(2025年5月期)
- 法人番号：9190001011011
- Web：https://www.wing.mie.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
駒田 麻耶

地域社会と物流を支える安全・安心な輸送サービスを提供し、顧客・従業員・地域社会とともに持続的に成長する企業を目指す

当社は三重県松阪市を拠点に、食用油などの食品関連輸送を中心とした特殊車両による運送事業を展開してきた企業である。安全性と品質を最優先に、顧客の物流を支えるパートナーとして事業を拡大してきた。物流業界は人手不足や労働規制など大きな変化の時代を迎えている。一方で、社会インフラとしての物流の重要性は今後さらに高まるものである。当社はこれらの変化を成長の機会と捉え、車両・拠点・整備体制への積極的な投資を行い、高品質な物流サービスを提供する企業へと成長していく。今回の自動車整備事業への投資は、当社の物流基盤を強化する重要な取り組みである。整備機能を内製化するとともに、新たな整備事業を展開することで事業領域の拡大を図るものである。この投資を契機として車両台数の増加、物流拠点の拡充、物流サービスの高度化を進め、10年後には売上高100億円を達成する企業へと成長することを目指す。そして地域物流を支える企業として、地域社会と物流業界の発展に貢献していくものである。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は現在売上高約14億円の規模であるが、物流需要の拡大と事業基盤の強化により、2035年に売上高100億円の達成を目指すものである。今後は特殊車両を活用した運送事業を中心に、車両台数の拡大、物流拠点の整備、新たな整備事業の展開などを通じて年率20%程度の成長を実現し、持続的な事業拡大を図る。

課題

売上高100億円の実現に向けて、以下の課題が存在する。

- ・車両整備を外部に依存していることによる整備コストの増加と車両稼働率の低下
- ・車両増加に対応する整備体制および物流拠点の不足
- ・運送業界全体の人材不足および管理体制の強化
- ・運行管理や業務管理のデジタル化の遅れ

これらの課題を解決することにより、物流サービスの高度化と企業成長を実現する。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 売上高100億円の達成に向け、以下の成長戦略を実行する。
- ① トラック対応の自動車整備棟および塗装棟の新設による整備事業の内製化
 - ② 自社車両整備の効率化による車両稼働率の向上
 - ③ 他の運送会社向け整備サービスの提供による新たな収益事業の創出
 - ④ 車両台数の拡大と物流ネットワークの強化
 - ⑤ 名阪営業所など物流拠点の機能強化による輸送能力の拡大
 - ⑥ 業務管理・運行管理のデジタル化による物流効率の向上

実施体制

本事業は代表取締役の主導のもと、社内の運行管理部門および整備部門を中心に推進する。また金融機関の支援を受けながら設備投資を進め、事業の着実な実行を図る。今後は整備部門の人材育成および管理体制の強化を進め、物流事業と整備事業の両輪で成長する企業体制を構築する。

売上高成長戦略

当社は三重県松阪市を拠点とし、食用油など食品関連輸送を中心とした特殊車両による運送事業を展開している企業である。現在売上高は約14億円規模であるが、物流需要の拡大と事業基盤の強化により、2035年に売上高100億円を達成することを目標とする。

当社の主力事業である特殊車両による食品輸送は参入障壁が高く、安定した需要が見込まれる分野である。この強みを活かし、車両台数の増加、物流拠点の拡充、整備体制の強化を進めることで物流事業の拡大を図る。

その成長戦略の中核となるのが、本補助事業によるトラック対応の自動車整備棟および塗装棟の新設である。これまで外部委託していた車両整備を内製化することで整備コストの削減と車両稼働率の向上を実現するとともに、地域の運送会社向け整備サービスを提供することで新たな収益事業として展開する。

また、名阪国道沿いに位置する伊賀拠点の立地優位性を活かし、関西・中部・関東を結ぶ物流ネットワークの中継拠点として機能を強化する。これにより地域物流を支える物流ハブとしての役割を担い、輸送能力の拡大と新規顧客の獲得を進める。

さらに車両台数の増加、物流拠点の拡張、整備体制の強化を組み合わせることで、物流事業を中心とした総合物流企業として事業規模の拡大を図るものである。

